

エピソード

「園庭の真ん中から砂場まで水を流したい」と、細長いビニール袋をガムテープで繋ぎ合わせ、ビニール袋の先に灯油ポンプを付け、毎日水を流していました。Aちゃん「今日も繋いでいる所から水が漏れてるから、テープを貼ったけど、テープはやっぱり水に負けちゃう」と、テープでは解決しないと思いつつも、テープで何とかしようとしていました。Bちゃんが「Aちゃん見て、ビニール袋に穴が開いてる」と言い、Cちゃんが水を流している間に他に穴が開いているところはないか探しました。Bちゃん「いっぱい穴が開いてきてる」と少し困った顔をしたので、その場で話し合えるよう時間をとりました。Aちゃん「残っている袋を持って行って考えよう」Dちゃん「みんなにも聞いてみる？」と話していたので、話し合いで取り上げることにしました。

話し合いでは「ホースに変えてみる?」「ホースは短くない?」「繋げば長くない?」「繋ぐと繋いだところから漏れやすい?」「新しいビニール袋を使うのはどう?」「ビニールの長さ足りる?」など、クラスみんなから考えが出てきました。Eくん「ホースが届くか測ってみよう」Fくん「ホースが足らなかつたらビニール袋を測ってみよう」と、みんなで園庭に出てどれだけの長さが必要か測りに行きました。①「測るってどうやって測る?」と尋ねると、「体温計?」「それ熱測るやつ」「ビヨーンって伸ばして測るやつがある」「引っ張って伸ばして測るやつ」と言うので、①「それってメジャー?」と聞くとみんなが声を合わせて「そう、それ」と言い、みんなでメジャーを伸ばしてみました。メジャーを伸ばし「19って書いてる」①「19mってことだね」「じゃあホースが19mあればいいってことか」と、メジャーに合わせながら測りましたが、3本程繋げても6mくらいまでしか届きませんでした。「ビニールが19mあるか測ってみよう」と、メジャーに合わせると19m以上あったため「19mで切って使おう」と、ビニール袋を19mのところまで切り、翌日使えるようにみんなで準備しました。

子どもの育ちや学び



- ・繋ぎ目から漏れる水をガムテープで解決しようとしながらも、テープが水に弱いことは分かっており、模索する日々が続く中で、ビニール袋に穴が開いたため、テープだけでは解決しないと感じる。
- ・困っている友達の話聞き、自分事のように一生懸命考える姿があった。
- ・話し合いの中で修理すること以外にも他のものを使ったり、新しくビニール袋を変えてみたりする方法など、友達の考えを聞き、試してみることにした。
- ・新たな道具(メジャー)を使うことで、長さが測れることに知ったり、気付いたりする。

保育者の思い

- ・毎日継続して遊ぶ中で、繋ぎ目から漏れる度に修理をしながらどうすれば漏れないのかなど、方法を尋ねるようにしていました。ガムテープが水に弱いことも子ども達は分かっており「接着剤使ってみる?」「のり?」「ボンドとか?」「それも水に負けそう」と、子ども達の中でじっくりとくるアイデアが出ない日々が続いていました。どのようにしたいのか子ども達に考えてほしいと思い、見守るようにしていました。
- ・ビニール袋の劣化で穴が開いてしまっていることに気付いた時、どのようにするだろうと見守りながらも、まずは同じ遊びをしている子ども達で考えを出し合ってもらいたいと思い、遊んでいるその場で話し合えるようにしました。
- ・クラスみんなで話し合い様々なアイデアが出ることで、数人で解決しないこともみんなで作れば良い方向に向かうことを実感してほしいと思いました。

家庭だったら・・・

自分達で解決しないことも友達や保護者の方、保育者など、様々な人の考えを聞き、子ども達は新たな方法の引き出しを増やし、その場に適した解決方法を見つけられています。様々な方法の引き出しを増やし、遊びだけでなく生活の中でも子ども達が活かせるように子どもと一緒に考える機会を大切にしていきたいですね。